

【学校課題】

- 確かな学力の育成
 - ・基本的な学力の向上
 - ・主体的な学習姿勢の定着
 - ・家庭学習習慣の確立
- 社会性・人間性の育成
 - ・危険予知能力の醸成
 - ・自己肯定感の高揚
 - ・自治的活動の向上

学校の教育目標

きびしく あたたく ねばり強く

学ぶ喜びがあふれ 確かな学力を身に付ける学校

学校経営方針

- 全職員の協働体制で活力あふれる学校経営を推進する。
- 教師一人一人が自己課題をもち、資質能力を高める研修に努める。

【大垣市の学校教育指導の方針】

- ・安心感の中で、児童生徒一人一人が「わかる」「できる」「のびる」喜びを実感できる指導を通して、生きる力を育てる。
- ・学校の教育目標を具現するため、児童生徒や地域の実態を踏まえた、より自立的・主体的な学校経営を全教職員で推進する。

夢と希望をもち 仲間とともに未来を生き抜く 赤坂中生徒

キーワード：「表現力」「活用力」「判断力」

	中 期 的 目 標	令和元年度の取組と方策	評価項目・目標値
確かな学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な学習内容の定着と、低学力の生徒に対する個に応じたきめ細かい指導の充実。 ○主体的・対話的で深い学びが得意仲間と学び合える学習集団づくりの育成。 ○学習規律の徹底と家庭での学習習慣の確立。 ○自分で考え判断するとともに、他を優しく思いやる心の醸成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における聞き方、話し方、書き方の指導を徹底し、安心して「分からない」と言える授業にする。 ・ペアやグループ、集団で話し合う場を設定し、意欲的に学びに向かう力を育てる。 ・自分の考えを根拠をもって説明する表現力の育成に力を入れることで、主体的・対話的で深い学びのできる授業実践を進める。 ・学習内容を自分の言葉でまとめる自主ノートづくりに力を入れ、基礎学力の向上につながる家庭学習の提供に努める。 ・考え議論する場を設定した道徳授業の実践に努め、互いに認め合い、高め合える人間関係づくりを進める。 ・他に左右されず、自分で言葉を選び取り、自分の意思による堂々とした発表をする力を身に付け、既習内容を駆使して学びを深める活用力をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の話や意見を最後まで聞くことができる 100% ・自分の考えや意見をを発表することが得意だ 65% ・家で自分で計画を立てて勉強している 70% ・相手の立場に立った言動がとれる 95% ・話し合いの時、自分の考えを深めたり広げたりする 80%
生き生きとした学校生活	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的な生徒指導による、生活習慣や規範意識の確立。 ○偏見・差別を許さず、不登校・いじめの未然防止。 ○一人一人に居場所があり、望ましい自治的活動を通じた学級・生徒会づくり。 ○所属感・達成感のある体験活動の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のよさを認め励まし、伸ばすことに重点をおいた声かけをする。 ・親身になって話を聴き、心を馳せる相談活動に力を入れるとともに、妥協せず、信頼と愛情に基づいた助言と方向付けをする。 ・アンケートや日常観察を通して、生徒の変容の早期発見に努めるとともに、不登校傾向生徒の様態に応じた適切な支援を行う。 ・赤坂中人権宣言を核とした生徒会活動を推進し、一人一人に学級の一員としての自己有用感や存在感をもたせるようにする。 ・生徒の主体性が発揮できる宿泊体験学習や修学旅行、感動できる体育祭・合唱コンクール・卒業式を実施する。 ・活動時間や取り組み内容を生徒が主体的に考え、互いの願いが高められる部活動を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の決まりを守っている 100% ・学校へ行くのは楽しいと思う 100% ・いじめはどんな理由があってもいけないことだ 100% ・自分には良いところがあると思う 75% ・ものごとを最後までやり遂げてうれしかった 95%
信頼される学校	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的で、自ら切り拓く進路選択能力の育成。 ○健やかな心身の育成と安全意識の向上。 ○危険予知能力と判断力の育成。 ○一人一人の持ち味を生かした特別支援教育の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい職業観や勤労観を育むキャリア教育の推進と、将来をどう生きるかを意識した日常生活の啓発を進める。 ・安全な登下校と交通事故防止の徹底に努めるとともに、不審者対応の意識を高める。 ・食育指導の充実と図るとともに、食物アレルギーには全校をあげて細心の注意を払って対応する。 ・自分を取り巻く環境には常に危険が潜んでいることに気づかせ、行為の裏側に潜む危険を予知できる判断力を身に付けさせる。 ・個別の支援計画を活用した指導の充実と見直しを行い、定期的な相談支援や事例検討会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や目標をもっている 80% ・交通マナーを守って登下校している 100% ・行動する前に、善し悪しを判断することができる 100% ・支援体制を整え、個にあった指導をしている 100%

- ◎教職員が心身ともに充実して生徒に向き合うための「働き方改革」の推進
- ①正確な勤務時間（出退勤時刻）の把握をします
 - ②リフレッシュデーの退校時刻を守ります
 - ③時間外勤務は平日3時間以内 月70時間以内にします
 - ④事務事業の見直しを行い 業務改善の推進を図ります
 - ⑤部活動は 平日は週1日 土日はいずれか1日を休養日とします
-
- 教職員の意識改革（授業力をつける教科指導・自治力をつける学級経営・主体となって取り組む学校経営）
 - 安心・安全への**危機管理能力の向上**（未然防止と早期対応）
 - 地域に学び、家庭・地域に信頼される学校（積極的な情報交流と説明責任）
 - 地域・保護者からの評価を、次年度への学校経営計画に生かす（学校評価システムの活用）

